

厚生労働省 令和7年度 老人保健健康増進等事業
「海外現地と自治体等の連携による外国人介護人材確保策に係る調査研究事業」

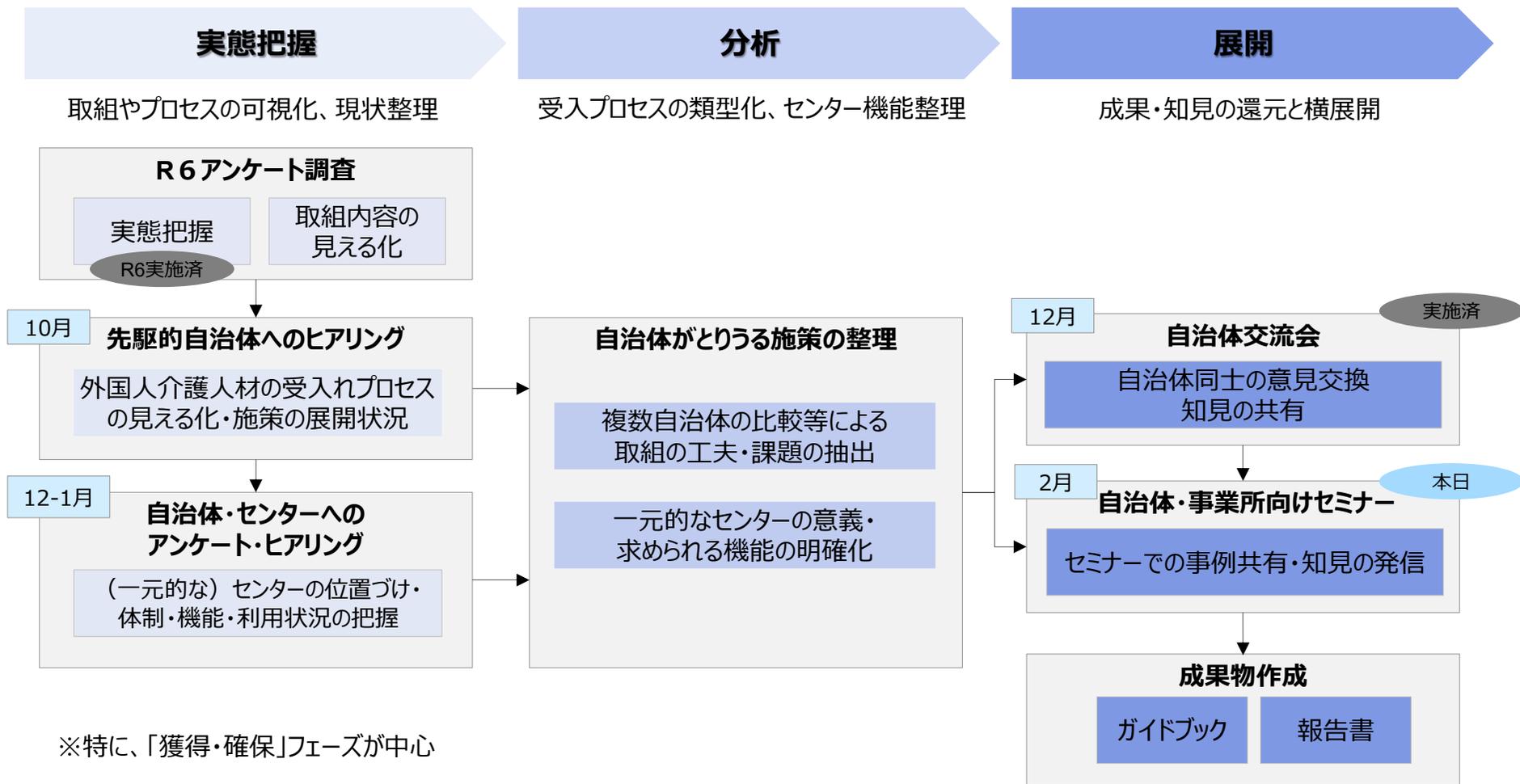
今年度の事業紹介

2026年2月27日

株式会社NTTデータ経営研究所 ライフ・バリュー・クリエイションユニット

事業の全体像

- 本事業では、外国人介護人材の「獲得・確保」「受入れ」「定着」に取り組む自治体を支援することを目的として、令和6年度の調査結果を踏まえつつ、より詳細な実態の把握・分析を行う。そのうえで、自治体が今後取り得る施策を整理し、自治体間の交流会やセミナーを通じて共有・展開までを一体的に進める。



※特に、「獲得・確保」フェーズが中心

本事業のフォーカス

- 外国人介護人材の獲得から定着までは、大きく**3つのフェーズ**に分かれると考えられる。
- 本事業では、自治体の多様な施策の中でも、特に外国人介護人材の「**獲得・確保**」の取組に着目する。

外国人介護人材の獲得・確保から定着までの流れ

	獲得・確保	受入れ	定着
フェーズ	介護現場の人材需要等に対応するため、 海外現地からの外国人介護人材の受入れルート を構築・安定化し、 継続的に採用や養成枠を確保する ための取組	介護施設・事業所において外国人介護人材を円滑に受け入れる ための取組（国内に在住する留学生等の外国人材とのマッチングも含む）	外国人介護人材が 安心して働き続けられるよう、人材の成長や地域での中長期的な活躍につなげる ための取組
時期	入国1年前～採用	採用決定～就業初期（半年程度）	就業後（半年以降）～
取組内容	都道府県	（一元的な取組）	
	市町村	（各取組）	（各取組）

※赤枠が本事業の主な対象範囲

自治体の取組一覧

- ・ 昨年度実施したアンケートをもとに、主な自治体の外国人介護人材の取組を整理した。

準備

- ・ 多文化共生社会の理解
- ・ 在留資格等の制度の勉強会
- ・ 民間への費用補助
- ・ 他施設の見学会
- ・ 事業所向け現地渡航費の補助

獲得・確保

情報収集・調査

- 自治体内の実態把握
- 内部資源の把握
- 海外現地の情報収集

関係構築・連携強化

- 現地への訪問・視察
- 協定締結

受入のスキーム策定

広報・採用活動

- 広報活動
- 採用活動

受入れ

マッチング・採用手続き

- 人材と事業者のマッチング
- 国内での外国人向け

現地での日本語・介護教育

受入れ体制の整備

- 事業者向けセミナー
- 受入れマニュアルの作成
- 地域のネットワークづくり
- 職場環境整備

定着

生活環境の整備

- 住居支援
- 交通等その他の支援

学習支援

- 資格取得支援
- 日本語学習支援

相談体制の整備

ネットワークづくり

- コミュニティ形成支援

事業所の定着支援

※各取組を一元的に実施するセンターの設置・運営

「獲得・確保」の取組

- 自治体が取り組む外国人介護人材の「獲得・確保」に関する施策について、自治体内および海外現地に関する「情報収集・調査」、海外現地との「関係構築・連携強化」、人材を円滑に受け入れるための「受入れスキームの策定」、ならびに海外現地における「広報・採用活動」の4つに整理した。



情報収集・調査

- 自治体内（受入れ側）の実態把握
- 内部資源の把握
- 海外現地の情報収集



関係構築・連携強化

- 現地への訪問・視察
 - 知事や市長等による表敬訪問
 - 現地の日本語学校や送出し機関の見学
- 協定締結
 - 海外の政府、政府機関、教育機関、送出し機関等との協定



受入れのスキーム策定

- 現地での教育から受入れまでのスキームの策定



広報・採用活動

- 広報活動
 - 宣材ツールの作成
 - SNSでの発信
 - 現地の人材配置・派遣
- 採用活動
 - 海外現地での説明会
 - 海外現地での面接会
 - 専用の採用ホームページの作成

自治体の取組事例

ミャンマーにおける県独自の受入れスキームの策定（福井県）

- 福井県は、送り出し機関等と連携し、福井県で受入れ予定のミャンマー人が地域に定着できるよう「福井クラス」を設置した。

【福井県】ミャンマーの日本語学校における「福井クラス」の設置

フェーズ	獲得・確保 ・ 受入れ ・ 定着
協定名	外国人介護人材育成支援事業に関する連携協定書
連携した組織	福井県 介護事業者 福井県社会福祉協議会 送り出し機関
概要	<ul style="list-style-type: none">送り出し機関（J-SAT）が、全国の地方で働くミャンマー人材へのヒアリングを重ねた結果、来日前の準備が重要であるとの結果を得て、県が来日前の事前教育を支援するスキームを検討。現地に、福井県の文化や生活習慣を教える「福井クラス」を設置し、来日前にミャンマーで日本語や介護に関する教育、福井の方言や文化、福井県ですでに受入れている外国人技能実習生とのオンライン交流授業をプログラムに組みこむ。
活用した補助金	活用していない
効果	<ul style="list-style-type: none">来日前から自治体のことを理解できるため、人材のミスマッチを防ぎ定着が期待できる。



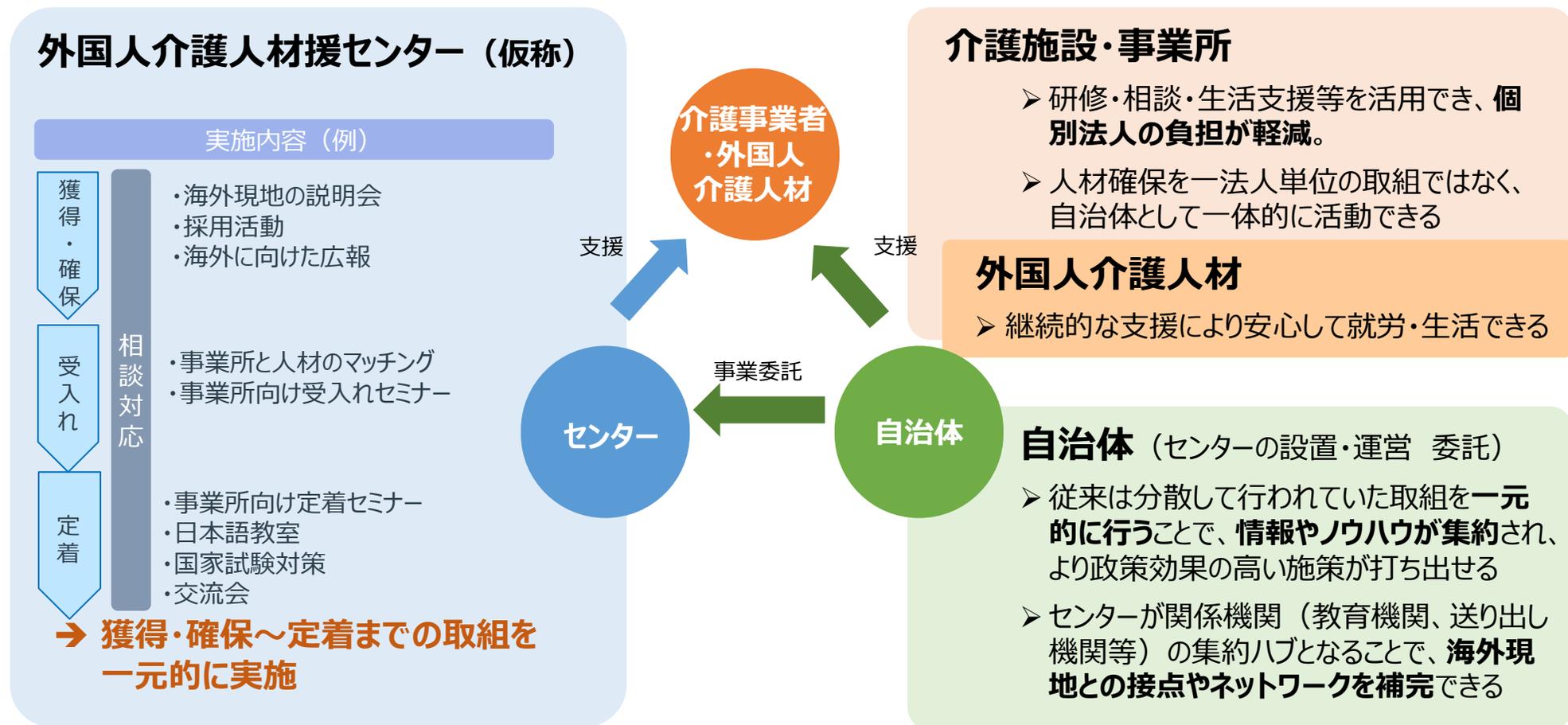
「福井クラス」のカリキュラム（全12回）の基礎となる3つの要素（東洋経済 2025/03/15）

- 賃金の高い首都圏と地方の間には賃金格差があり、地方で人材を定着させるには、来日後ではなく来日前に、それぞれの地域に適した人材を見極めることが重要。
- 来日前と来日後のギャップを減らすことも、定着において大きなポイント。
- 来日後は、生活や仕事で新しいことを学ぶ必要があり、多くのストレスを抱える。そのため「その土地の特徴や方言を来日前に学ぶことが重要である」という意見が多く寄せられた。

画像出典：<https://toyokeizai.net/articles/-/864147?page=4>

外国人介護人材のための支援を一元的に行うセンターの設置・意義（仮説）

- これまで、自治体による外国人介護人材の確保・受入れ・定着に関する事業は、個別に分散して実施されることが多く、一元的に担うセンター等の体制は限られていた。一方で、自治体にセンターを設置することで、外国人介護人材に関する窓口を一本化し、支援や施策を集中・連続的に展開することが可能となると考えられる。



参考：センターに関するアンケート調査

- 本事業では、外国人介護人材の支援を行うセンターの実態を把握するため、介護部局、産業・商工労働部局に対するアンケートを行った。調査では、センターの機能や運営の実態を整理するとともに、外国人介護人材支援におけるセンターの意義についても考察する予定である。

■ センターの定義

外国人介護人材を含む外国人就労者に関する支援について、自治体が関与（直営・委託・補助等）し、継続的な体制として設置・運営されている拠点であり、以下の機能のうち1つ以上を主たる役割として担っているもの。

1. 確保（海外とのルート構築、採用活動等）
2. 受入れ（マッチング、受入れ体制整備等）
3. 定着支援（生活支援、学習支援、事業者支援等）
4. 相談対応（本人・事業者からの相談受付、関係機関へのつなぎ等）

■ センターに関するアンケートの概要

調査対象

- 都道府県の
 - 介護・福祉関係部局
 - 産業・商工労働関係部局

調査時期

2026年1月21日～2月12日（木）

調査内容

- 外国人介護人材を含む外国人就労者に対する取組の状況
- センター等の設置状況
- センター等の機能
- 基本情報、機能、役割、利用実態、庁内連携・外部連携、センターの成果・課題等
- （センター等が未設置の場合）センター等の設置意向

一元的センターの事例

外国人介護人材のための総合的なセンター（滋賀県）

- 滋賀県国際介護・福祉人材センターでは、外国人介護人材の獲得・確保、受入れ、定着を総合的に支援している。

獲得・確保

- 「特定技能・留学」を通じたマッチング支援は、県事業としてセンター運営団体に委託、「技能実習」はセンターの自主事業とし、3つの在留資格を通じた外国人介護人材の受入れを総合的に実施している。
- 海外現地へのPR動画の作成やセンター職員自らが、海外現地にある日本語学校・大学等で、**介護に関する講義**を実施・発信。

センターの取組

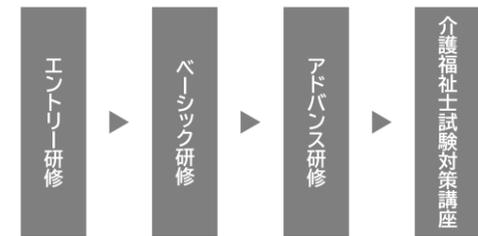
受入れ

- 受入れ施設・指導者向け研修**の実施。集合型セミナーから、事業所ごとの課題に応じた個別セミナーまで、幅広く、柔軟に対応している。
- 実際に県内の事業所で働く、**外国人介護人材による取組発表会**を年1回開催し、「どういった思いで介護をしているか」、「働く中で学んだことや得たことは何か」についてプレゼンテーションしている。
- 事業所が活用できる「**おたすけブック**」も作成。

定着

- 入国後の年数に応じた**階層別の研修制度**を構築し、外国人材の学びをフォローしている。

入国後年数に応じた階層別研修



海外現地へのPR動画



事業内容



一元的センターの事例

外国人介護人材のための総合的なセンター（京都府）

- 京都府外国人介護人材支援センターでは、外国人介護人材の受入れ・定着に注力した取組を行っている。
- 特に、日本語学校と連携し、留学生を対象に介護の仕事や魅力を説明するガイダンスを実施している。

受入れ

- 相談員による窓口相談（事業者、外国人双方対象）
- 外国人介護人材に関する**情報発信**
- 外国人向け介護に係る入門講座
- 日本語学校と連携した**留学生向け介護の介護の魅力発信、アルバイトのあっせん**

等

定着

- 研修会・セミナーの開催**
 - 日本語能力向上研修
 - 介護技術向上研修
 - 外国人介護職員指導者向け研修

等

センターの取組

留学生向けの介護の魅力発信（ガイダンスの実施）

留学生向けガイダンスをやっています！

日本語学校や大学・専門学校等に在学する留学生を対象に、介護の仕事内容や魅力、京都府内の外国人介護職員の様子などを説明するガイダンスを実施しています。令和6年度は京都国際日本語学校にて開催し、36名が参加しました。ガイダンス終了後、介護の仕事に興味を持った学生23名が施設見学に参加しました。その後、就業体験に行ったり、実際にアルバイトを始めた学生もいます。

ガイダンスの様子

ガイダンス メニュー例

- 介護の仕事について（仕事内容、給料など）
- 介護の仕事を探す時、センターで受けられるサポート内容
- 京都府で介護の仕事をしている外国人職員の様子を紹介など 30分～1時間程度で実施しています。

メニュー・時間は学校様と事前相談し、設定しています。日本語学校、大学・専門学校の方で御希望の場合は、お気軽にセンターまでお問い合わせください。

きょうとふ がいこくじん かいご じんざい しえん
京都府外国人介護人材支援センター
 Kyoto Prefectural Foreign Care Worker Support Center

理念～目指すべき方向～
 ・共生社会や多様化する働き方の拠点を大切にします。
 ・外国人材受け入れ事業所とそこで働く外国人介護職員の双方を支援します。
 ・「働く」ことに併せて、「暮らし」や「生活」についても支援します。
 これらの支援を京都府内の関係機関・団体と連携して実施していきます。

京都府委託事業（受託：京都府社会福祉協議会）
 外国人介護職員の円滑な受入れや定着を支援しています。

センターの主な取り組み

外国人の方へ

- ◆ **福祉・介護の仕事についての相談**
 「介護の仕事をした」などの相談を受け、施設の見学や仕事の体験、面接先などを紹介しています。
- ◆ **研修会の開催**
 「介護の仕事をしている方」に「介護の仕事」に関する必要知識や技術を学ぶ研修を開催しています。
 ・介護技術向上研修
 ・日本語能力向上研修
- ◆ **介護の仕事をしたことがない方**
 介護について基本を学ぶ研修を開催しています。
 ・はじめての介護の勉強会（介護に係る入門講座）

事業所の方へ

- ◆ **外国人介護職員の受入れにかかる相談**
 事業所での外国人介護人材の受入れに関しての相談をお受けしています。
- ◆ **研修会・セミナーの開催**
 外国人職員を指導している職員向けに、指導のポイントや受入れを検討している・受入れをしている事業所向けに受入制度の説明や受入事例の紹介を行うセミナーを実施しています。

日本語学校、大学等 教員の方へ

- ◆ **留学生向けガイダンス（説明会）の実施**
 介護・福祉の仕事内容や、京都府内の福祉・介護の仕事の状況に関する説明を行っています。また、事業所への見学調整等を実施しています。

よくあるご相談

電話やメールで相談を受付けています。お気軽にご相談ください。

Q. 介護の仕事に興味がありますが、自分にできるか不安です。
 A. 介護の仕事について、基本の知識や技術を学ぶ研修を実施しています。また、センターでは施設見学、介護の仕事の体験を紹介しています。

Q. 外国人職員の受入れに興味がありますが、何も知識がありません。
 A. センターでは、セミナーやホームページで外国人介護人材の受入れに関する情報を発信しています。ホームページは下記QRコードよりご覧いただけます。

FUKUJYO 京都府外国人介護人材支援センター
 京都府外国人介護人材支援センター
 (社会福祉法人京都府社会福祉協議会)
 〒600-8575 京都市中京区竹屋町丸丸清水町375
 ハートピア京都 地下1階

075-252-6295
 kfscsc@kyoshakyo.or.jp
 【開所時間】
 月～金 9:00～17:00(祝日、年末年始を除く)

京都府外国人介護人材支援センター
 https://fukujob.kyoshakyo.or.jp/kfscsc/

令和7年度成果物「自治体向けガイドブック」について

- 自治体が海外現地との人材確保等の実務を行う際に参考となるよう、具体的な事例も含めたガイドブックを作成する。

概要

目的

- 自治体が海外現地との人材確保やスキーム構築等の実務を進める際の具体的な参考資料として活用できるよう、取組の意義、プロセス、ポイントを実践的に整理すること

対象

- 外国人介護人材の「獲得・確保」の取組を実施したいと考えている自治体

構成

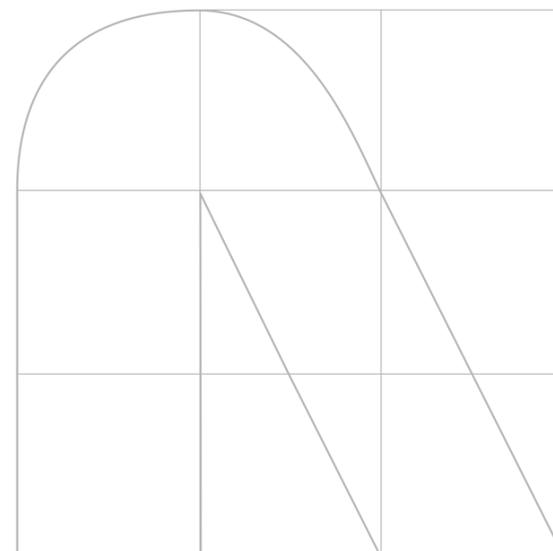
- はじめに
 - ガイドブックの目的、想定する対象者、ガイドブックの使い方
- 自治体が外国人介護人材の「獲得・確保」に関与する意義
- 外国人介護人材の「獲得・確保」の取組を検討するプロセス・ポイント
- 参考資料



Appendix

令和6年度事業のご紹介

- 海外向け発信資料
- セミナー



【令和6年度事業 成果物】海外向け発信資料

- 令和6年度の事業では、自治体等が、日本や介護に対する理解が十分でない国の政府機関や送り出し機関等に対し、日本の魅力や介護の仕事内容、外国人介護人材の活躍イメージを効果的に伝えることを目的として作成した。

成果物①

海外向け発信資料

- 各自治体がスライドを追加、削除、更新できるよう、海外への説明内容を網羅的に記載した。
- 2言語対応（日本語、英語）
- PPT形式43枚



成果物②

海外向け発信資料 ダイジェスト版

- 限られた時間で最低限必要な説明をしたい場合に使えるよう、①の主要な部分をまとめた海外向け発信資料の要約版である。
- 2言語対応（日本語、英語）
- PPT形式7枚



成果物③

自治体向け補足資料

- 自治体が資料①②を活用する際の注意点や説明のコツ等を解説した資料を作成した。
- 参考情報として、海外から先進的に人材の受入れを進める自治体の活動概要を掲載した。

成果物掲載HP



【令和6年度事業 成果物】海外向け発信資料

日本の介護の仕事とは

- 介護とは、病気や障害等を理由に日常生活に支援が必要な人に対して提供されるケアのことです。
- 介護の仕事は、国家資格もある専門的な仕事です。介護は24時間365日稼働していますが、複数の職員がシフト制で分担するので、長時間労働にならず予定も立てやすい働き方になっています。在留資格や就労する施設によって、夜勤を担当する場合があります。

●日本の介護の特徴

尊厳の保持

その人の価値観や自分らしさを保ちながら、他者と同じように尊重されること

自立支援

介護によるサポートを受けることでその人らしい自立した日常生活を継続すること

介護と看護の違い

- 看護は医師の指示に基づき、病気や怪我がある人の治療のサポートを行います。
- 介護は日常生活に支援が必要な人の生活のサポートを行います。

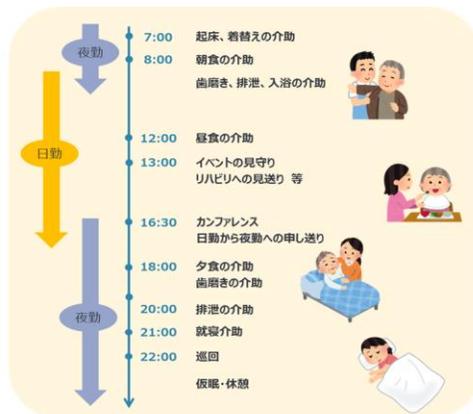
施設で生活



自宅で生活



●介護職の就労イメージ



2



対外発信資料
(一式)

【英語版】

Nursing care work in Japan

- In Japan, nursing care means care provided to senior people requiring assistance in their daily life due to illness, injury, etc.
- Care work is a specialized job that requires national qualifications. Care work is done 24 hours a day, 365 days a year, but multiple staff members work in shifts, so long hours work is avoided and it is easy to plan your schedule. Depending on your status of residence visa and the facility you work at, you may be in night shifts.

●Characteristics of nursing care in Japan

Respect of dignity
Help each person to maintain their values and individuality and respect them as others

Support for independence
Help each person to continue leading their daily life with independence by daily care

- <Differences between care workers and nurses>
- Nurses support treatment of the sick or injured under instructions of doctors.
 - Care workers support daily life activities of people requiring assistance.



●Image of working in the nursing profession



2

【令和6年度事業】セミナーの実施

- 自治体・事業者向けのセミナーを実施し、千葉県健康福祉部、滋賀県健康医療福祉部、岩手県宮古市企画部より、外国人介護人材の確保等に関する取組について報告いただいた。

概要

日時 2025年3月25日（火） 10:30-12:30

プログラム

- 外国人介護人材確保に関する最新の政策動向
(厚生労働省 社会・援護局 福祉基盤課 福祉人材確保対策室)
- 千葉県留学生受入プログラムの実績と課題
(千葉県健康福祉部健康福祉指導課福祉人材確保対策室)
- 外国人介護人材の受入環境整備にかかる取組
(滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課)
- インドネシアマナド市とのLOI締結への道のり
(岩手県宮古市企画部秘書課)
- 対外発信資料（日本での新たなキャリアと可能性）について（NTTデータ経営研究所）
- パネルディスカッション（海外に一步踏み出すための秘策について）



講演資料は昨年度報告書に掲載しております





Lighting the way
to a brighter society